

平成23年10月19日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 第2回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 10月19日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成23年 第2回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成23年10月19日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 経過報告 ※はビデオ放映
 - (1) 総合教育文化モデル事業開催(6/9、13、16)【資料1】※
 - (2) 多摩川っ子(第4号)発刊(7/11)【資料2】
 - (3) 東急百貨店より「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/11)【資料3】
 - (4) 狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加(7/17)【資料4】※
 - (5) 日本赤十字社に義援金を送金(7/29)
 - (6) 第4回子どもカヤック体験教室開催(7/30)【資料5】※
 - (7) 夏休み親子イベント(リビング多摩連携事業)開催(8/6)【資料6】
 - (8) 多摩川1万人の清掃大会参加(8/7)【資料7】
 - (9) 第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催(8/22)【資料8】※
 - (10) 「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」第2回植樹イベント開催(9/10)【資料9】※
 - (11) 「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会開催(9/12)【資料10】
 - (12) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」対外公表(10/1)【資料11】
東京ビッグサイト・JATA旅博ブース・パフォーマンス(10/1～2)【資料12】
美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念講演(10/1)【資料13】
 - (13) 第4回美しい多摩川フォトコンテストの募集を開始(10/1～12/31)【資料14】
～以下、当面の予定～
 - (14) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月)【資料15】
 - (15) 第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/17)【資料16】

4. 意見交換

- (1) 「東北・夢の桜街道プラン」について【資料11】
- (2) 「食と地域の交流促進対策事業」について【資料10】
- (3) 「多摩川の歌」の普及について
- (4) 「美しい多摩川クリーンキャンペーン」の拡大について
- (5) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第2回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（昭島市 環境部 環境課 水と緑の係 菊池 和也 様）

菊池と申します。10月1日付で配属になったばかりのため、まだ十分理解しておりませんが、勉強させていただきますので、よろしくお願いいたします。

（ANAセールス株式会社 東京支店 第一販売部

国内団体セールスグループ・マネージャー 福原 光男 様）

福原と申します。分からないことが多いですが、色々と勉強してまいりますので、よろしくお願いいたします。

（日本フィルター工業株式会社 羽村工場 業務部長兼営業部長 玉杵 正則 様）

玉杵と申します。我々は、JTグループの会社であり、たばこのおかげで肩身の狭い思いをしておりますが、こういった地域貢献に参画させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

（日本航空 顧客販売部 第2グループマネージャー 佐藤 實 様）

佐藤と申します。夏頃に声を掛けていただき、今回初めて出席をさせていただきましたが、色々な形で勉強させていただければと思います。また、何かお手伝いできることがあればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）

有り難うございました。以上、本日も新たに4名の方が加わりました。

それでは、福田環境清流部会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(福田環境清流部会長)

本日は、お忙しい中をお集まりいただき、有り難うございます。今日も活発なご意見をいただきたく、どうぞよろしく願い申し上げます。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告（事務局）

はい、前回6月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに（1）番、（4）番、（6）番、（9）番、（10）番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

（1）総合教育文化モデル事業開催（6/9、13、16）

（4）狛江古代カップ第21回多摩川いかだレース参加（7/17）

（6）第4回子どもカヤック体験教室開催（7/30）

（9）第3回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/22）

（10）「美しい多摩川フォーラムの森（青梅）」第2回植樹イベント開催（9/10）

— ビデオ放映 —

経過報告はいかがでしたでしょうか。その他の経過報告、当面の予定につきましては、お時間の関係で、資料添付のみとさせていただきますので、後ほどご覧いただければ幸いです。

事務局から1点だけご報告があります。5月末で1,000会員を突破したフォーラムの会員数も、こういった取り組みにより、先週1,100会員を突破いたしました。中には、個人会員だけではなく、大手の企業さんも多数入会されています。この場をお借りして、感謝を申し上げます。

以上で経過報告を終わります。福田会長、よろしくお願いいたします。

(福田部会長)

いかがでしたでしょうか。子どもたちにとって、体感するということが非常に大事だということを感じました。大人も子どもの頃に帰って、ライフジャケットを着けたり、水で遊んだり、カヌーで遊んだり、実際に体験することが、環境教育に繋がるということが、ビデオを通して分かりました。

事務局からの経過報告でご質問、ご意見などございますか。ないようですので、意

見交換に進めます。

4. 意見交換（部会長）

（福田部会長）

私は全林研に所属しており、9月に北海道で全林研東北・北海道ブロックのコンクールがありました。このブロックには、被災地である宮城・岩手・福島が含まれているため、今年開催をどうしようかと林野庁から相談がありましたが、その3県が、「今回、グループ・コンクールがなければ、自分たちもめげてしまう。なんとかしてでもやりたい。」とおっしゃいましたので、開催されました。

私たちは遠くから見ているだけですが、何か力になれることはないかと考えた時、風評被害が大きいと思うのです。私たちが、誰かと話をする際、一言でも良いから、「風評被害こそが異常である」ということを訴えるべきではないかと思えます。これから事務局より説明がある、「東北・夢の桜街道プラン」の実現に向けて、みんなで頑張っていけたら良いと思えます。

それでは、はじめに事務局の方から説明してください。

（1）「東北・夢の桜街道プラン」について【資料 11、12、13】

（事務局）

- ・ 【資料 11】をご覧ください。前回6月の活動部会の意見交換において、このプランの概要を説明させていただき、7月の臨時運営委員会で承認されました。そして7月と9月の実行委員会を経て、10月1日の対外公表に至りました。お配りした資料には、対外公表のペーパー3枚と、チラシ2枚が添付されております。
- ・ 対外公表につきまして、【資料 12】と【資料 13】をご覧ください。10月1日に、東京と山形の2ヵ所で対外公表を行い、東京では東京ビッグサイトで開催された「JATA旅博」で、山形では山形グランドホテルで開催された「美しい山形・最上川フォーラム設立10周年記念事業」の記念講演にて、同時に「東北・夢の桜街道プラン」を公表しました。
- ・ 「JATA旅博」については、東北観光推進機構さんよりお声掛けをいただき、ブース・パフォーマンスという形で、今回のプランの趣旨・概要を、平野啓子さん出演の1本のビデオにまとめ、1日2回、2日間で計4回、会場にてプレス発表をしました。初回放映前には、細野会長にご足労いただき、スクリーンの前でご挨拶を賜りました。山形では、宮坂事務局長が記念講演を行い、その中でプレス発表を行いました。
- ・ チラシ2枚をご覧ください。1枚目には、東北6県の代表的な桜の札所の写真が掲載されています。チラシ裏面には、桜の札所・八十八カ所の一覧があり、下段には、東北6県の知事の写真が掲載されています。そして具体的なイベントとして、2枚

目のチラシをご覧ください。来年4月21日（土）には、1番札所である福島県三春町の三春滝桜で、平野啓子副会長による語り会がすでに決定しています。イベントは、1回にとどまることなく、今後10年間、少なくとも毎年1回ずつ、東北6県の札所のどこかで開催する予定です。

- ・ 続いて、新聞記事をご覧ください。対外公表後、大きな反響があり、各メディアから取材依頼が多数寄せられ、テレビ朝日の情報番組「ワイド！スクランブル」で取り上げられたほか、新聞各社にも記事が大きく掲載されました。今日は主なもの（朝日新聞朝刊、山形新聞、日刊スポーツ、読売新聞）のみご紹介させていただきます。また、先週金曜日には、FMラジオ局J-WAVEの番組「Jam The World」で、宮坂事務局長が5分間の電話生出演を果たし、このプランをPRしました。
- ・ これから、「JATA旅博」で放映したビデオを皆さんにご紹介しますので、スクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

（事務局）

いかがでしたでしょうか。前回の部会では、JTBさんにご出席いただき、来年1月には具体的な商品を発表するため、現在社内調整を進めているとお話をいただきました。また、JR東日本さんにも準備をさせていただいており、はとバスさんからも、来春から東北ツアーを企画して盛り上げていきたいというお話をいただいています。そして今日は、全日空さんと日本航空さんにご出席をいただいておりますので、この件について一言お願いいたします。

（全日空 福原様）

私どもでは「スカイホリデー」という商品があり、ペーパーやWEBを活用して、可能な限り全国各地の消費者の方たちを対象にPRしていきたいと思っています。我々は飛行機で商売をしておりますので、出来るだけ遠くから東北に来ていただくために、社内の“商品造成”という組織と、来年春の商品化に向けて、準備を進めている段階です。飛行機が離発着できる県は限られていますが、バスなども利用しながら、10年間で可能な限り何度も訪れていただけるプランを提供させていただきたいと考えています。

（日本航空 佐藤様）

ビデオを拝見しましたが、震災復興に向けての大変良い企画だと思っています。昨日、ニュースを見ましたら、「東日本大震災と、その後に咲いた桜を題材にした短編ドキュメンタリーが、アカデミー賞ドキュメンタリー部門の候補に選ばれた」とありました。やはり“桜”というのは、日本人の心に触れるキーワードではないかと思ひ

ます。

さて、具体的にどうお手伝いさせていただくかと申しますと、先ほど全日空さんからお話がありました通り、我々は航空会社でございますので、各方面にわたって、幅広く告知をさせていただく予定です。JTBさんなどのような旅行会社の商品として企画していただくものもあれば、「JALパック」という自社の旅行商品で企画検討させていただく方法もありますので、今後考えさせていただきます。

札幌・八十八ヶ所を一度に巡ることはできませんので、食事場所などの観光インフラを含めたモデル・コースをいくつか作成・ご提案させていただき、飛行機・電車・バスなどのアクセスについては選択できるようにしたほうが、震災復興に向けての集客につながるのではないかと個人的には思います。

(事務局)

有り難うございました。事務局からの報告は以上です。福田部会長、よろしく願いいたします。

(福田部会長)

ただいま、全日空さんと日本航空さんから商品企画に関するお話がございましたが、何かご質問、ご意見はございますか。「こういうプランはどうか」という案でも構いません。

(馬淵様)

JATA旅博でのパフォーマンスや、新聞各社に取り上げられてはいますが、一般市民へのアピールはまだまだ少ないように感じます。「ワールド・ビジネス・サテライト」(テレビ東京の報道番組)などのテレビに取り上げてもらい、認知度を高めていく工夫をしたほうが良いのではないのでしょうか。

(福田部会長)

ロコミなども効果的ではないかと思えます。特に女性は、こういった話題に耳を大きくしていますので。メディアに取り上げられるのも良いかと思えますが、もっと底辺で広げて行けたらと思えますので、何か方法を考えたいと思えます。

(事務局)

「マスコミ向けにプレゼンスを高める」というお話もごもっともですが、それ以外に、フォーラムの事務局がある青梅信用金庫を含め、全国には信用金庫が271ございます。信用金庫の理念は、「非営利・相互扶助」で、株式会社である銀行とは趣が異なりますから、こういった運動に関して、賛同を得やすい素地がございます。「東

北・夢の桜街道プラン」のチラシ下部に後援が掲載されていますが、(社)東北地区信用金庫協会をはじめ、東北地区加盟信用金庫のすべてが載っています。今後も全国の信用金庫さんにお声掛けをし、賛同していただければ、後援していただいている信用金庫さんには、全営業店にポスターを掲示いただくことで、新聞などの一過性ではなく、預金者など、毎日お客様の目に留めていただける機会が出来るのではないかと考えています。

また、信用金庫に限らず、フォーラムの法人会員の中で、ぜひ社内でPRしたいという企業さんがいらっしゃいましたら、事務局から優先的にポスターをお配りさせていただき、一緒にPRをさせていきたいと思ひます。

(全日空 福原様)

航空会社として、かなり遠方からのお客様を東北に運んでいくには、全国にこの運動をPRする必要がありますので、全国の信用金庫さんにはぜひ協力をお願いしたいと思ひます。また、東北への旅を単年度だけではなく、長期間根付かせるための工夫も必要だと思ひます。

(福田部会長)

確かに、根付かせることがとても大事だと思ひます。事務局も大変だと思ひますが、事務局任せにせず、我々も小さなことから根付かせていけるように努力したいと思ひます。

(事務局)

事務局から皆さんに、案があればご提供いただきたいことがひとつあります。「八十八カ所を巡る際に、スタンプ・ラリーをしたらどうか」という案が出ていますが、場所によっては山奥に咲く桜もあり、現実的に可能なのかどうか、考えているところです。「携帯電話でスタンプできる」という情報もあり、事務局で調べている最中ですが、皆さんのほうで何かご意見などがあればお願いいたします。

(藤井様)

花見スポットは、最盛期になると、観光バスが動けなくなります。ですので、ツアーは桜だけではなく、史跡巡りなども盛り込んだほうが良いと思ひます。

(玉杵様)

東北は、震災を受けて半年しか経っていません。我々のグループでも、ボランティアで東北に6回行きましたが、一週間の滞在で草むしりしかやっていません。まだ「観光」と言っている場合ではないのではないかと感じます。まず東北を元に戻さないと、

この話も続いていかないのではないかと思います。

(福田部会長)

確かに復興は大事です。「桜」の観光もしつつ、ボランティア活動もすることも大事だと思います。他にご意見はございますか。ないようでしたら、次に進めます。

(2) 「食と地域の交流促進対策事業」について【資料10】

(事務局)

- ・ 【資料10】をご覧ください。この事業は、8月に交付決定が下り、9月12日に第1回・実行委員会を開催しました。議事メモを添付しておりますので、後ほど目を通していただければと思います。
- ・ そもそも「食と地域の交流促進対策事業」とは何かと申しますと、観光と連携した、都市農山村の交流促進（グリーンツーリズム）を推進していくものです。具体的には、奥多摩の自然・食・文化を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を促進していくもので、地域の人口が減少していく中、交流人口を増やす観光ビジネスを創出していきたいと考えています。地元の特産品、物産品を開発し、美しい多摩川フォーラムの広域ネットワークを連携して、魅力的な地域づくりができればと思います。観光交流によって、少しでも地域経済が活性化し、持続可能で活力ある地域社会の実現を期待しています。
- ・ 取組内容は、①地元の特産品の研究・開発（奥多摩郷土弁当、モダン・スイーツ）、②地元の昔話や文化資源の掘り起こしと実演、③食と文化の交流イベントの開催、④当フォーラムの広域連携ネットワークを活用した交流人口増加による地域活性化です。総事業費（案）は、平成23年度が2,122千円、平成24年度が2,498千円です。
- ・ 年度内の今後のスケジュールですが、9月12日に第1回実行委員会が開催され、1月11日に第2回実行委員会、2月28日に第1回「食と文化の交流イベント」シンポジウムが開催される予定です。今回のシンポジウムでは、弁当・スイーツの試作、あるいは試作前の素材について発表する予定です。弁当・スイーツの完成は平成24年度になります。事務局からの説明は以上です。福田部会長、よろしくお願いたします。

(福田部会長)

この件について、何かご意見はございますか。ないようですので、次に進めてください。

(3) 「多摩川の歌」の普及について

(事務局)

- ・ CD完成についてはすでにご報告をさせていただきました。来月、多摩川流域の小中学校約850先に、CDを発送する予定です。発送前には、マスコミ等に広報をさせていただく予定です。
- ・ 12月に開催予定の「第4回多摩川子ども環境シンポジウム」では、東村山第2中学校吹奏楽部の生徒さんたちにより、冒頭で「多摩川の歌」を歌っていただく予定です。実は、いままで総会などで「多摩川の歌」を披露してくださっている三多摩青年合唱団のメンバーに、東村山第2中学校社会科の箱崎先生がいらっしゃり、今回の企画が持ち上がりました。箱崎先生には、普段から「多摩川の歌」の普及活動にご尽力をいただいています。その箱崎先生から、歌を発表する前の11月に、「ぜひフォーラムの活動について子どもたちに説明してほしい」と依頼を受け、事務局による1時間程度の出前講座を開く予定です。これからも、色々な形で普及活動を続けてまいりますので、皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

(福田部会長)

普及について、何かご意見はございますか。私から提案ですが、部会が始まる際、「多摩川の歌」をBGMで流したらどうかと思います。なかなか聴く機会がありませんので、ぜひよろしくお願いいたします。それでは、次に進めてください。

(4) 「美しい多摩川クリーンキャンペーン」の拡大について

(事務局)

- ・ 【資料15】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、11月をクリーンキャンペーン月間と位置付け、一昨年からの取り組みを行っております。第1回目は5団体でスタートし、第2回目となる昨年は、10の連携団体で実施しました。今年は、新たに三井住友海上火災保険株式会社の皆さんと、日本フィルター工業株式会社さんも参加されることになっています。行政については、昭島市が調整中となっており、立川市にもこれから話をしたいと思っています。今年度も、十数団体で実施できるのではないかと考えています。一つでも多くの団体にご参画いただき、11月を「多摩川の一斉清掃月間」として定着させ、多摩川の上・中・下流をみんなで一斉に清掃できればと思います。事務局からは以上です。

(福田部会長)

今年の「美しい多摩川クリーンキャンペーン」の開催日は決まったのですか？

(事務局)

フォーラム主催の清掃活動は、11月26日に開催する予定で、例年通り、御岳溪谷を起点に、上流・下流の2方向に別れて清掃します。

(福田部会長)

各行政の方たちは、独自に日程を決めるのでしょうか。

(事務局)

青梅市さん、奥多摩町さんにおいては、当フォーラムの清掃活動に参加される予定です。羽村市さん、福生市さん、日野市さんは、独自に清掃活動をされます。調布市さんにおいては、もともと4月と11月に「多摩川クリーン作戦」という清掃活動をされています。他の企業さんにおいても、独自で清掃活動をされる方、当フォーラムの清掃活動に参加される方がいらっしゃいます。

本日、昭島市さんにご出席をいただいておりますが、今回、クリーンキャンペーンに参加されるということでしょうか。

(昭島市)

10月1日から配属になったばかりで、内容を十分に把握してないため、帰ってから上司に伝え、出来ることがあればお手伝いさせていただきたいと思っております。

(事務局)

有り難うございました。三井住友海上火災保険の山本様、この件につき一言よろしくお願ひいたします。

(三井住友海上火災保険 山本様)

この春、長野支店から転勤してまいりました。長野におりました頃から、長野県の環境部さんと合同で、生物多様性という観点から、環境に対する取り組みを推進してまいりました。その経験を踏まえ、美しい多摩川フォーラムでも一緒に活動させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局)

有り難うございました。続きまして、日本フィルター工業の玉杵様、一言お願ひいたします。

(日本フィルター工業 玉杵様)

JTは、市民参加型清掃活動「ひろ街運動」(“ひろえば街が好きになる運動”の略)

において、国からも表彰を受けています。その延長線上として、美しい多摩川クリーンキャンペーンに参加したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(藤井様)

9月18日に御嶽山から御岳溪谷を下っていきましたが、小澤酒造さんのお店の手前にトイレがあり、あまりの汚さに閉口しました。トイレを撤去するか、きれいにしないと、せっかくの景観が台無しです。早急に青梅市など管轄する部門に連絡をされたほうが良いと思います。

(福田部会長)

トイレは文化ですから、事務局のほうで管轄部門への連絡をよろしくお願いいたします。では、次に進めてください。

(5) その他

第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/17)【資料16】

- ・【資料16】をご覧ください。今年で第4回目を迎えます。昨年は10団体が参加しましたが、今年はずでに4～5団体の参加が決定し、4～5団体は調整中です。中には初参加の団体もありますが、現在も募集中ですので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

(福田部会長)

有り難うございました。通しで何かご意見・質問などございませんか。

(藤井様)

先日、隅田川クルーズに行っていました。その時、ガイドさんの説明の中で、「ミシュラン・ガイドに載ったおかげで、日本で一番有名なのは、富士山と高尾山です。ご存知でしたか？」とありました。我々日本人にとって、富士山と高尾山は全く別格ですが、ミシュラン・ガイドを見てから来日する外国人にとっては、同格なのです。2～3年前から、多くの外国人が高尾山に詰めかけています。

高尾山がミシュラン・ガイドのおかげで有名になったのなら、御嶽山や御岳溪谷も、なんとかミシュラン・ガイドに掲載されるように働きかけたらどうかと思います。

(福田部会長)

確かに御嶽山・御岳溪谷は素晴らしいところです。そういった宣伝も必要だと思います。

5. 部会長総括・閉会（部会長）

（福田部会長）

様々なご意見をいただき、有り難うございました。これからも頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、これにて終了いたします。本日は有り難うございました。

以 上